

学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名： 京都市立桃陽総合支援学校	
学級(学習集団)等の概要	
本時の学習集団等の特徴	<input type="checkbox"/> 通常の学習集団 <input checked="" type="checkbox"/> 通常とは異なる学習集団
	本時の学習集団の人数： 9人 <input checked="" type="checkbox"/> 複数学年の児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 習熟度別の学習集団を構成 <input type="checkbox"/> 小・中学校等との交流及び協働学習(次の2項の場合を除く) <input type="checkbox"/> 児童生徒の前籍校との交流及び共同学習 <input type="checkbox"/> 他の特別支援学校との交流 <input type="checkbox"/> 分校、分教室(病院内の学級を含む)等、普段は異なる場で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒と教室で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 病院内の学級の児童生徒のみで構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒のみ <input type="checkbox"/> 発達障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 知的障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 肢体不自由のある児童生徒が含まれる

学級(学習集団)等の概要	
授業日時：平成24年 8月 1日 13:20～14:30	学年：学部 [小学部3～6年、中学部1年]
教科等	<input type="checkbox"/> 各教科 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他 ( )
単元名	オープンスクール プログラム 「クイズ・ゲーム大会、ふり返りスライドショー」
単元・題材の目標	・タブレットパソコンを使ってみる。 ・タブレットパソコンを使ってコミュニケーションをとる。 ・スライドショーの映像を見て活動を振り返る。
単元全体の流れ	13:20～ TPCの使い方を知る。 TPCに書き込み、互いの回答を発表し、評価し合う。 14:10～ IWBに映し出される画面をみて活動を振り返る。 互いの活動を評価し、感想を発表し合う。
本時の目標	(1)TPCの使い方を知る。 (2)クイズ大会を通して互いにTPCに書き込んだ回答を見て互いにのコミュニケーションを図る。 (3)スライドショーに映し出された画面を見ながら、互いの活動を振り返り、感想を発表し合う。
本時の授業形態	本時の授業の場
<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	<input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が1か所に集まって実施 <input type="checkbox"/> 校内の複数の教室等(同一敷地内)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校、分校、分教室(病院内の学級を含む)等をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と病院・施設等(病院内の学級を除く)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と小・中学校、他の特別支援学校等をネットワークで結んで実施

本時の指導体制	<input type="checkbox"/> 担当教員1名のみ <input checked="" type="checkbox"/> 複数教員による指導 <input checked="" type="checkbox"/> ICT支援員によるサポート <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として学習支援) <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として介助等)
---------	---

本時における情報通信技術の活用	
活用した機器	IWB、TPC
活用したコンテンツ	自作コンテンツ コラボノート
活用の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示や動機付け <input checked="" type="checkbox"/> まとめや振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒による発表や話し合い、教え合い <input type="checkbox"/> 教員による説明 <input type="checkbox"/> 観察・実験や調査の記録 <input type="checkbox"/> レポート、作品等の作成 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 直接経験の代行 <input type="checkbox"/> 意志の伝達

本時の展開		
学習の流れと児童生徒の活動	指導・支援のポイント	使用した機器・コンテンツ
<input type="checkbox"/> 一斉学習 本時の活動内容の確認 <input type="checkbox"/> 一斉学習 活動内容の説明を聞く。 T P Cの使い方を知る。 <input type="checkbox"/> 個別学習 出された質問についてそれぞれ思い思いの答えをT P Cに自由に書き込む。  <input type="checkbox"/> 協働学習 互いの回答を発表し、評価し合う。  <input type="checkbox"/> 一斉学習 活動の様子を映像を通して振り返る。 映像を見て互いに評価し、感想を述べる。	本時の活動内容を説明する。 「ゲーム・クイズ大会」 「ふり返しスライドショー」  初めてT P Cを使うのでその使い方について個別に支援する。 コラボノート操作の説明をする。 書き込みについてさらに工夫できるように、いろいろな機能を紹介する。 文章作成について要請があれば個別に支援する。  最後に活動の講評をする。	IWB (指導者)  IWB (指導者) TPC (指導者) TPC (生徒)  TPC (生徒)  IWB (指導者) IWB (生徒)

講評を聞く。		
協働学習の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が教え合う場面があった <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が話し合う場面があった <input type="checkbox"/> 児童生徒が協力したり助け合ったりする場面があった <input type="checkbox"/> 一人の発表を基に学級(学習集団)全体で考える場面があった <input checked="" type="checkbox"/> 同じ問題について学級(学習集団)全体で話し合う場面があった <input type="checkbox"/> ネットワークを活用して遠隔地と結んで学ぶ場面があった	

情報通信技術の活用のねらいと効果、課題	
活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TPCの使い方について知る。</li> <li>・IWBに映し出されるスライドを見て、デザイン、レイアウト、アニメーションの工夫を知る。</li> </ul>
活用の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コラボノートにおいて、互いに同時に書き込みができた。また、なれてくると色やデザインの工夫ができた。</li> <li>・スライドショーを鑑賞することで、画面の工夫を知ることができた。</li> </ul>
課題となる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて使う児童生徒ばかりであった。複数の指導者でサポートする方が望ましい。</li> <li>・また、「こんな風にも書き込みができる」、「色づかいもできる」と言った工夫を指導者が提示することは有効だと考える。</li> </ul>

## 自立活動 授業デザイン

日 時：平成24年8月1日(水)〔夏期休業期間〕(13時20分～14時30分)  
 学 年：小学部3年～6年・中学部 1年  
 授業場所：本校 会議室

### 1. 単元(題材)名

「オープンスクール プログラム ～クイズ・ゲーム大会, 振り返りスライドショー」

### 2. 単元(題材)の目標

- ・タブレットパソコンを使ってみる。
- ・タブレットパソコンを使って互いにコミュニケーションをとる。
- ・スライドショーの映像を見て活動を振り返る。

### 3. 単元(題材)の指導計画

指導計画 本時 (13:20～14:30)

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
13:20～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TPCの使い方を知る。</li> <li>・TPCに書き込み, 互いの回答を発表し, 評価し合う。</li> </ul>	IWB TPC
14:10～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IWBに映し出される画面を見て2日間の活動を振り返る。</li> <li>・互いの活動を評価し, 感想を発表し合う。</li> </ul>	IWB TPC

### 4. 本時の目標

- (1) TPCの使い方を知る。
- (2) クイズ大会を通して互いにTPCに書き込んだ回答を見て互いのコミュニケーションを図る。
- (3) スライドショーに映し出された画面を見ながら, 互いの活動を振り返り, 感想を発表し合う。

### 5. 本時の情報通信技術 (ICT) 活用

活用する場面	・導入 ・展開 ・まとめ
活用する者〔目的〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒〔・個別学習 ・協働学習 〕</li> <li>・指導者〔・コンテンツ提示, 資料提示 〕</li> </ul>
活用するコンテンツ	・自作コンテンツ コラボノート
活用する機器	・IWB ・TPC

## 6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<p>一斉学習</p> <p>本時の活動内容の確認</p>	IWB（指導者）	本時の活動内容を説明する。 「ゲーム・クイズ大会」 「ふり返しスライドショー」
展 開	<p>一斉学習</p> <p>活動内容の説明を聞く。 TPCの使い方を知る。</p> <p>個別学習</p> <p>出された質問についてそれぞれ思い思 いの答えをTPCに自由に書き込む。</p>	<p>IWB（指導者）</p> <p>TPC（指導者）</p> <p>TPC（生徒）</p>	<p>初めてTPCを使うのでその 使い方について個別に支援す る。</p> <p>コラボノート操作の説明をす る。</p> <p>書き込みについてさらに工夫 できるよう、いろいろな機能 を紹介する。</p> <p>文章作成について要請があれば 個別に支援する。</p>
	<p>協働学習</p> <p>互いの回答を発表し、評価し合う。</p>	TPC（生徒）	
ま と め	<p>一斉学習</p> <p>活動の様子を、映像を通して振り返る。 映像を見て互いに評価し、感想を述べ る。</p> <p>講評を聞く。</p>	<p>IWB（指導者）</p> <p>IWB（生徒）</p>	最後に活動の講評をする。

## 7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

- (1) TPCの使い方について理解できたか。
- (2) TPCを使って互いのコミュニケーションが図れたか。
- (3) IWBに映し出されるスライドを通して互いの活動について振り返り、評価できたか。

## 8. 準備物

感想文記入シート、IWB、TPC、  
デジタル資料（自作コンテンツ、コラボノート）

学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名： 京都市立桃陽総合支援学校	
学級(学習集団)等の概要	
本時の学習集団等の特徴	<input type="checkbox"/> 通常の学習集団 <input checked="" type="checkbox"/> 通常とは異なる学習集団
	本時の学習集団の人数： 15人 <input checked="" type="checkbox"/> 複数学年の児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 習熟度別の学習集団を構成 <input type="checkbox"/> 小・中学校等との交流及び協働学習(次の2項の場合を除く) <input type="checkbox"/> 児童生徒の前籍校との交流及び共同学習 <input type="checkbox"/> 他の特別支援学校との交流 <input checked="" type="checkbox"/> 分校、分教室(病院内の学級を含む)等、普段は異なる場で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒と教室で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 病院内の学級の児童生徒のみで構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒のみ <input checked="" type="checkbox"/> 発達障害のある児童生徒が含まれる <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 肢体不自由のある児童生徒が含まれる

学級(学習集団)等の概要	
授業日時:平成 24年 8月 28日 5・6時限 目	学年: 中学部 第 1・2・3学年
教科等	<input type="checkbox"/> 各教科 ( ) <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他 ( )
単元名	NEW文房具を考えよう
単元・題材の目標	文房具の調査と分析を行い、チームでアイデアを考えながら「新しい文房具」を企画する。チームの提案をプレゼン発表・ポスターセッションなどで交流し合い、最終的にまとめた企画をコンテストに応募する。
単元全体の流れ	個人で文房具の調査をする。 チームでアイデアを出し合いながら、「新しい文房具」を考える。 考えた「新しい文房具」を企業に提案する。
本時の目標	チームで集まり、自己紹介をすることでお互いを知る。 個人で調べた「これはすごい文具」を紹介し合い、グループ内で話し合い一つに決め、発表する。
本時の授業形態	本時の授業の場
<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	<input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が1か所に集まって実施 <input checked="" type="checkbox"/> 校内の複数の教室等(同一敷地内)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校、分校、分教室(病院内の学級を含む)等をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と病院・施設等(病院内の学級を除く)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と小・中学校、他の特別支援学校等をネットワークで結んで実施

本時の指導体制	<input type="checkbox"/> 担当教員1名のみ <input type="checkbox"/> ICT支援員によるサポート <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として学習支援) <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として介助等)	<input checked="" type="checkbox"/> 複数教員による指導
---------	--	---

本時における情報通信技術の活用		
活用した機器	・IWB ・TPC ・無線LAN	
活用したコンテンツ	・自作コンテンツ ・コラボノート	
活用の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示や動機付け <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒による発表や話し合い、教え合い <input type="checkbox"/> 観察・実験や調査の記録 <input type="checkbox"/> レポート、作品等の作成 <input type="checkbox"/> 直接経験の代行	
	<input checked="" type="checkbox"/> まとめや振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 教員による説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 意志の伝達	

本時の展開		
学習の流れと児童生徒の活動	指導・支援のポイント	使用した機器・コンテンツ
<p><b>一斉学習</b>  本時の活動内容の確認  夏休み前に調べた「これはすごい文具」を思い出す。いっそう詳細に調べる。  チームのメンバーを発表する。</p> <p><b>個別学習</b>  「これはすごい文具」をいっそう詳細に調べ、プレゼンを作る。  自己紹介を考え、プレゼンを作る。  調べた内容をデジタル化しておく。</p> <p><b>協働学習</b>  チームで集合し、自己紹介をする。  個別に調べた「これはすごい文具」をチーム内で紹介し合う。  「これはすごい文具」</p>	<p>前時の復習  活動内容を具体的に提示  より現実味のある商品を開発するように促す。</p> <p>TPC を使い、ネットを活用して調べる。  ネット上の情報を活用する方法を個別に支援する。  プレゼン作成ができるよう個別に支援する。</p> <p>チームの活動がスムーズにできるよう支援する。</p> <p>プレゼン作成について要請があれば個別に支援する。  コラボノート操作説明</p> <p>コラボノートを活用し、意見を書き込む。</p>	<p>IWB (指導者)</p> <p>TPC (生徒)</p> <p>TPC (生徒)</p> <p>IWB (生徒)  TPC (生徒)</p>

<p>について話し合い，一つに決める。          役割分担をし，発表プレゼンを作成する。          発表する。          発表に対して，意見を記入する。</p> <p>講評を聞く</p>		
<p>協働学習の実施状況</p>	<p><input type="checkbox"/> 児童生徒が教え合う場面があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が話し合う場面があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が協力したり助け合ったりする場面があった</p> <p><input type="checkbox"/> 一人の発表を基に学級(学習集団)全体で考える場面があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 同じ問題について学級(学習集団)全体で話し合う場面があった</p> <p><input type="checkbox"/> ネットワークを活用して遠隔地と結んで学ぶ場面があった</p>	

<b>情報通信技術の活用のねらいと効果、課題</b>	
<p>活用のねらい</p>	<p>一人一台タブレットPCを活用し，個別に文房具についての情報を収集する。          収集した情報をTPCを活用し，まとめる。          チーム内で話し合い，一つに決めた「これはすごい文具」をTPC，IWBを活用し          発表する。          サーバーをクラウド的に活用する。</p>
<p>活用の効果</p>	<p>一人一台タブレットPCがあるので，調べたいことを一人ひとりが自由にできる。          無線LANが導入されているので，班活動ができる場所の自由度が高い。          調べた内容をもとに，班内でまとめる活動がスムーズにできる。</p>
<p>課題となる事項</p>	<p>画像を扱うには，TPCの能力が低い。</p>



## 総合的な学習の時間 授業デザイン

日 時：平成 24 年 8 月 28 日（火）第 5・6 校時（13 時 15 分～15 時 5 分）  
 学 年： 中学部 1・2・3 年  
 授 業 場 所：本校 学習室 1

1. 単元（題材）名  
 「NEW 文房具を考えよう」

2. 単元（題材）の目標  
 文房具の調査と分析を行い，チームでアイデアを考えながら「新しい文房具」を企画する。チームの提案をプレゼン発表・ポスターセッションなどで交流し合い，最終的にまとめた企画をコンテストに応募する。

3. 単元（題材）の指導計画  
 指導計画（全 36 時間） 本時 5・6 時間目

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第 5 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習『NEW 文具』を思い出す。自分で調べる。</li> <li>・「これはすごい文具」プレゼンをつくる</li> <li>・自己紹介を考える。自己紹介プレゼンをつくる。</li> </ul>	IWB TPC
第 6 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで集合し，自己紹介をする。</li> <li>・全体発表 「これはすごい文具」</li> <li>・チーム内で「これはすごい文具」紹介をする。</li> </ul>	IWB TPC

4. 本時の目標  
 (1) チームで集まり，自己紹介をすることでお互いを知る。  
 (2) 個人で調べた「これはすごい文具」を紹介し合い，グループ内で話し合い一つに決め，発表する。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	・導入 ・展開
活用する者〔目的〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒〔個別学習，協働学習 〕</li> <li>・指導者 〔コンテンツ提示，資料提示 〕</li> </ul>
活用するコンテンツ	・自作コンテンツ ・コラボノート
活用する機器	・IWB ・TPC

## 6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<p><b>一斉学習</b></p> <p>本時の活動内容の確認 夏休み前に調べた「これはすごい文具」を思い出す。いっそう詳細に調べる。 チームのメンバーを発表する。</p>	IWB(指導者)	<p>前時の復習</p> <p>活動内容を具体的に提示より現実味のある商品を開発するように促す。</p>
展 開	<p><b>個別学習</b></p> <p>「これはすごい文具」をいっそう詳細に調べ、プレゼンを作る。 自己紹介を考え、プレゼンを作る。 調べた内容をデジタル化しておく。</p> <p><b>協働学習</b></p> <p>チームで集合し、自己紹介をする。 個別に調べた「これはすごい文具」をチーム内で紹介し合う。 「これはすごい文具」について話し合い、一つに決める。 役割分担をし、発表プレゼンを作成する。</p> <p>発表する。 発表に対して、意見を記入する。</p>	<p>TPC (生徒)</p> <p>TPC (生徒)</p>	<p>TPC を使い、ネットを活用して調べる。 ネット上の情報を活用する方法を個別に支援する。 プレゼン作成ができるよう個別に支援する。</p> <p>チームの活動がスムーズにできるように支援する。</p> <p>プレゼン作成について要請があれば個別に支援する。 コラボノート操作説明</p> <p>コラボノートを活用し、意見を書き込む。</p>
ま と め	<p>講評を聞く</p>	<p>IWB (生徒) TPC (生徒)</p> <p>IWB(指導者)</p>	<p>コラボノートを活用し講評</p>

## 7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

- (1) 「これはすごい文具」について調べ、プレゼンをつくることができた。
- (2) 「これはすごい文具」をチームでまとめ、発表することができた。

## 8. 準備物 学習プリント、IWB、TPC、デジタル資料（自作コンテンツ、コラボノート）

学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名： 京都市立桃陽総合支援学校	
学級(学習集団)等の概要	
本時の学習集団等の特徴	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学習集団 <input checked="" type="checkbox"/> 通常とは異なる学習集団
	本時の学習集団の人数： 2 <input checked="" type="checkbox"/> 複数学年の児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 習熟度別の学習集団を構成 <input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校等との交流及び協働学習(次の2項の場合を除く) <input type="checkbox"/> 児童生徒の前籍校との交流及び共同学習 <input type="checkbox"/> 他の特別支援学校との交流 <input type="checkbox"/> 分校、分教室(病院内の学級を含む)等、普段は異なる場で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒と教室で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 病院内の学級の児童生徒のみで構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒のみ <input checked="" type="checkbox"/> 発達障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 知的障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 肢体不自由のある児童生徒が含まれる

学級(学習集団)等の概要	
授業日時：平成25年2月26日 5時限目	学年：小学部 第 2・3学年
教科等	<input checked="" type="checkbox"/> 各教科 (国語) <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他 ( )
単元名	読んだお話をしようかいしよう「スーホの白い馬」
単元・題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、思いや考えをもつことができるようにする。</li> <li>・あらすじをとらえて、お話の好きなところを紹介することができるようにする。</li> </ul>
単元全体の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残った本を紹介するという学習課題を決め、学習計画を立てる。</li> <li>・「スーホの白い馬」を読んで、いちばん心に残った場面について話し合う。</li> <li>・「あらすじ」について知り、場面ごとに登場人物や出来事を整理する。</li> <li>・心に残ったことが伝わるようにあらすじをまとめ、家の人に紹介する紹介文を書く。</li> <li>・読んだ本の中から、友だちにすすめたい本をあらすじを入れて紹介し、感想を伝え合う。</li> </ul>
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想の中心を明確にして、大事なところを書き抜くことができる。</li> <li>・一番心に残った場面について話し合い、感想を持つことができる。</li> </ul>
本時の授業形態	本時の授業の場
<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	<input type="checkbox"/> 児童生徒が1か所に集まって実施 <input type="checkbox"/> 校内の複数の教室等(同一敷地内)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校、分校、分教室(病院内の学級を含む)等をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と病院・施設等(病院内の学級を除く)をネットワークで結んで実施 <input checked="" type="checkbox"/> 本校等の教室と小・中学校、他の特別支援学校等をネットワークで結んで実施

本時の指導体制	<input type="checkbox"/> 担当教員1名のみ <input checked="" type="checkbox"/> 複数教員による指導 <input type="checkbox"/> ICT支援員によるサポート <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として学習支援) <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として介助等)
---------	---

本時における情報通信技術の活用	
活用した機器	電子黒板
活用したコンテンツ	テレビ会議システム
活用の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示や動機付け <input checked="" type="checkbox"/> まとめや振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒による発表や話し合い、教え合い <input checked="" type="checkbox"/> 教員による説明 <input type="checkbox"/> 観察・実験や調査の記録 <input type="checkbox"/> レポート、作品等の作成 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 直接経験の代行 <input checked="" type="checkbox"/> 意志の伝達

本時の展開		
学習の流れと児童生徒の活動	指導・支援のポイント	使用した機器・コンテンツ
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>協働学習</b>            自己紹介をする。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>一斉学習</b>            本時のめあてを知る。   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             「スーホの白い馬」が、長く読み続けられているわけを考えよう。           </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>個別学習</b>            「スーホの白い馬」のお話を読んで、一番心に残ったこととそのわけをノートに書く。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>協働学習</b>            ノートに書いたことを発表し合う。         </div>	<p>わかりやすく相手に名前を伝えるために、名前カードをカメラに映しながら自己紹介をする。</p> <p>挿絵と場面ごとのタイトルを掲示し、物語の登場人物や出来事について整理しやすくする。</p> <p>机間巡視し、個別に指導する。</p> <p>児童の意見を板書して整理する。</p>	電子黒板 テレビ会議システム マイク ウェブカメラ

<p><b>協働学習</b> 友だちの意見を聞いて、同じだと思ったことを発表する。</p> <p><b>一斉学習</b> 次回の交流の予定を知る。</p>		
<p>協働学習の実施状況</p>	<p> <input type="checkbox"/> 児童生徒が教え合う場面があった                      <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が話し合う場面があった  <input type="checkbox"/> 児童生徒が協力したり助け合ったりする場面があった  <input checked="" type="checkbox"/> 一人の発表を基に学級(学習集団)全体で考える場面があった  <input checked="" type="checkbox"/> 同じ問題について学級(学習集団)全体で話し合う場面があった  <input checked="" type="checkbox"/> ネットワークを活用して遠隔地と結んで学ぶ場面があった </p>	

<p>情報通信技術の活用のねらいと効果、課題</p>	
<p>活用のねらい</p>	<p>・テレビ会議システムを活用し、本校と地域の小学校の児童が協働学習を行う。</p>
<p>活用の効果</p>	<p>・集団に参加しにくい児童も、緊張せずに堂々と発表することができた。発表の音が小さくても、マイクで拾ってくれるので伝わった。</p>
<p>課題となる事項</p>	<p>・音声が聞き取りづらい場面があった。両校ともに、事前に発表する児童の立ち位置やマイクの調整について確認しておくことが必要。</p> <p>・テレビ会議の交流だけでは回を重ねると本校児童が飽きてくるので、直接の交流や手紙の交流などと一緒に取り組んでいけると良い。</p>

学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名: 京都市立桃陽総合支援学校	
学級(学習集団)等の概要	
本時の学習集団等の特徴	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学習集団 <input checked="" type="checkbox"/> 通常とは異なる学習集団
	本時の学習集団の人数: 15名 <input checked="" type="checkbox"/> 複数学年の児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 習熟度別の学習集団を構成 <input type="checkbox"/> 小・中学校等との交流及び協働学習(次の2項の場合を除く) <input type="checkbox"/> 児童生徒の前籍校との交流及び共同学習 <input type="checkbox"/> 他の特別支援学校との交流 <input checked="" type="checkbox"/> 分校、分教室(病院内の学級を含む)等、普段は異なる場で学習する児童生徒で構成 <input checked="" type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒と教室で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 病院内の学級の児童生徒のみで構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒のみ <input type="checkbox"/> 発達障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 知的障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 肢体不自由のある児童生徒が含まれる

学級(学習集団)等の概要	
授業日時:平成24年10月18日5時限目	学年: 小学部 第5,6学年
教科等	<input type="checkbox"/> 各教科 ( ) <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他 (外国語活動)
単元名	「友達に自分の部屋の場所を案内しよう」 ("Hi, Friends!2" Lesson4 参照)
単元・題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地への行き方を尋ね合う表現に慣れ親しみ, 進んで道案内しようとする。</li> <li>・日本語と英語とでは, 建物の表し方が違うことや, 人に頼む時の気持ちのよい言い方に気付く。</li> </ul>
単元全体の流れ	第1時:建物の言い表し方を聞き, 日本語と英語との共通点や違いに気付く。 第2時:建物の言い表し方に慣れ親しむ。 第3時:目的地への行き方を尋ねたり伝えたりする。 第4時:道案内に使う言葉を選んで自分の部屋を案内する。
本時の目標	建物の言い表し方に慣れ親しみ, 友達とやり取りをする。
本時の授業形態	本時の授業の場
<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 協働学習 <input type="checkbox"/> 個別学習	<input type="checkbox"/> 児童生徒が1か所に集まって実施 <input type="checkbox"/> 校内の複数の教室等(同一敷地内)をネットワークで結んで実施 <input checked="" type="checkbox"/> 本校、分校、分教室(病院内の学級を含む)等をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と病院・施設等(病院内の学級を除く)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と小・中学校、他の特別支援学校等をネットワークで結んで実施
本時の指導体制	<input type="checkbox"/> 担当教員1名のみ <input checked="" type="checkbox"/> 複数教員による指導 <input checked="" type="checkbox"/> ICT支援員によるサポート <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として学習支援) <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として介助等)

本時における情報通信技術の活用	
活用した機器	デジタルテレビ, TPC, リモートカメラ, プロジェクター
活用したコンテンツ	協働学習システム, TV 会議システム
活用の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示や動機付け <input type="checkbox"/> まとめや振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒による発表や話し合い、教え合い <input checked="" type="checkbox"/> 教員による説明 <input type="checkbox"/> 観察・実験や調査の記録 <input type="checkbox"/> レポート、作品等の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 直接経験の代行 <input checked="" type="checkbox"/> 意志の伝達

本時の展開		
学習の流れと児童生徒の活動	指導・支援のポイント	使用した機器・コンテンツ
<p>○挨拶をする。</p> <p>・全体で挨拶をした後、個別に数名の児童の体調を聞く。</p> <p>How are you? I'm fine/happy/ tired/sleepy/hungry</p> <p>○本時のめあてを知る。</p> <p>○前時の建物絵カードを振り返り、リポートする。</p> <p>○What's this?ゲームをする。</p> <p>①本校と府立に分かれて交互に、絵カードを部分的に隠して相手に見せる。</p> <p>②見たいヒントの色や形を府立・本校の児童が選ぶ。(各担任で指名)</p> <p>③絵カードの数だけクイズを出し合う。</p> <p>○本時の活動を振り返る。</p>	<p>・本時で初めて交流する児童がいる場合は、各担任から紹介する。</p> <p>・何度か声に出した後、個別に発言できるようにする。</p> <p>・ヒントカードを使って、ヒントとなる形や色を英語で表現しやすいようにする。</p>	<p>&lt;機器&gt;</p> <p>デジタルテレビ TPC リモートカメラ プロジェクター</p> <p>&lt;コンテンツ&gt;</p> <p>協働学習システム TV 会議システム</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働学習システムに振り返りを書き込む。</li> <li>・書き終わったら友達の振り返りを読む。時間があれば、コメントを付ける。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul> <p>Good bye everyone. Good bye.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働学習システム上で色分けして感想を書き込む。</li> <li>・やり取りをするという目標に対して、自分ができてうれしかったこと(ピンク), 友達のよかったところ(黄), 次の時間にがんばりたいこと(青) と色分けをしてふせんに書き込むようにする。</li> </ul>	
協働学習の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒が教え合う場面があった</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒が協力したり助け合ったりする場面があった</li> <li><input type="checkbox"/> 一人の発表を基に学級(学習集団)全体で考える場面があった</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 同じ問題について学級(学習集団)全体で話し合う場面があった</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> ネットワークを活用して遠隔地と結んで学ぶ場面があった</li> </ul>	

情報通信技術の活用のねらいと効果、課題	
活用のねらい	<p>TV 会議システム: (分教室)1 人,あるいは少人数であるためにコミュニケーション活動に取り組むことが難しい児童に,友達との会話やクイズに取り組む場面を設定することで,コミュニケーション能力の育成を図る。 (本校)離れた場所にいる友達に自分の思いを伝えようとする中で,コミュニケーション能力の育成を図る。</p> <p>協働学習システム:同一画面上でお互いの感想を交流し,次時への意欲を高める。</p>
活用の効果	<p>相手に伝えたいという気持ちが普段よりも高まり,積極的にコミュニケーション活動に取り組むことができた。</p>
課題となる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間中,最初から最後まで TV 会議システムを繋げた状態であったため,治療中の児童にとっては疲労感が強く,負担となってしまった。長時間のシステム活用は,分教室児童には不向きであるように感じたので,今後は場面を絞り,効果的に活用していきたい。</li> <li>・病室から繋いだ児童は,積極的にコミュニケーション活動に取り組むことができていたが,翌日感想を聞くと,精神的な面でかなり無理をしていたとのことであった。また,病室では母親の支援で参加したが,ベッドサイドに教師がいてほしいとのことであった。これらのことから,一人ひとりの実態に合わせた活用法,場面設定,支援の方法を検討していく必要があると感じた。</li> </ul>



学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名： 京都市立桃陽総合支援学校	
学級(学習集団)等の概要	
本時の学習集団等の特徴	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学習集団 <input checked="" type="checkbox"/> 通常とは異なる学習集団
	本時の学習集団の人数： 8人 <input checked="" type="checkbox"/> 複数学年の児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 習熟度別の学習集団を構成 <input type="checkbox"/> 小・中学校等との交流及び協働学習(次の2項の場合を除く) <input type="checkbox"/> 児童生徒の前籍校との交流及び共同学習 <input checked="" type="checkbox"/> 他の特別支援学校との交流 <input checked="" type="checkbox"/> 分校、分教室(病院内の学級を含む)等、普段は異なる場で学習する児童生徒で構成 <input checked="" type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒と教室で学習する児童生徒で構成 <input checked="" type="checkbox"/> 病院内の学級の児童生徒のみで構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒のみ <input checked="" type="checkbox"/> 発達障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 知的障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 肢体不自由のある児童生徒が含まれる

学級(学習集団)等の概要	
授業日時：平成25年12月18日3時限目	学年：小・中学部 複数学年
教科等	<input type="checkbox"/> 各教科 ( ) <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他 ( )
単元名	ICTを活用して福島県の支援学校と交流をしよう
単元・題材の目標	テレビ会議システムで、福島県の支援学校と交流をしよう
単元全体の流れ	① 代表者挨拶      ② 自己紹介      ③ 絵しりとり      ④ 代表者挨拶
本時の目標	・テレビ会議システムで、福島県の支援学校と繋ぎ、自己紹介や絵しりとりをして関係性を深める。
本時の授業形態	本時の授業の場
<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 協働学習 <input type="checkbox"/> 個別学習	<input type="checkbox"/> 児童生徒が1か所に集まって実施 <input checked="" type="checkbox"/> 校内の複数の教室等(同一敷地内)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校、分校、分教室(病院内の学級を含む)等をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と病院・施設等(病院内の学級を除く)をネットワークで結んで実施 <input checked="" type="checkbox"/> 本校等の教室と小・中学校、他の特別支援学校等をネットワークで結んで実施
本時の指導体制	<input type="checkbox"/> 担当教員1名のみ <input checked="" type="checkbox"/> 複数教員による指導 <input checked="" type="checkbox"/> ICT支援員によるサポート <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として学習支援) <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として介助等)

本時における情報通信技術の活用	
活用した機器	テレビ会議システム
活用したコンテンツ	
活用の目的	<input type="checkbox"/> 課題の提示や動機付け <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒による発表や話し合い、教え合い <input type="checkbox"/> 観察・実験や調査の記録 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 直接経験の代行 <input type="checkbox"/> まとめや振り返り <input type="checkbox"/> 教員による説明 <input type="checkbox"/> レポート、作品等の作成 <input type="checkbox"/> 意志の伝達

本時の展開		
学習の流れと児童生徒の活動	指導・支援のポイント	使用した機器・コンテンツ
自己紹介 絵しりとり	初めて出会う仲間の交流なので ゆっくり話し、焦らず時間を取り絵を見せるなど、ゆったりとした時間のなかで活動を行う。	テレビ会議システム
協働学習の実施状況	<input type="checkbox"/> 児童生徒が教え合う場面があった <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が話し合う場面があった <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が協力したり助け合ったりする場面があった <input type="checkbox"/> 一人の発表を基に学級(学習集団)全体で考える場面があった <input type="checkbox"/> 同じ問題について学級(学習集団)全体で話し合う場面があった <input checked="" type="checkbox"/> ネットワークを活用して遠隔地と結んで学ぶ場面があった	

情報通信技術の活用のねらいと効果、課題	
活用のねらい	以前作品交流のあった福島県の支援学校とテレビ会議を繋ぎ、児童生徒が顔を合わせ言葉を交わし関係性を深める。
活用の効果	福島県の支援学校の生徒は、交流を大変楽しみにしていたようで、「絵しりとり」の準備をしっかりして、テレビ会議を通して桃陽の児童生徒に説明をしていた。子ども同士の関わりで交流を進めることができたことは、楽しい時間を共有することに繋がった。また、その場がかいた絵を見せ合うことで、雰囲気や和み福島と京都の距離を縮める効果を招いた。「絵しりとり」の交流は、テレビ会議システムを大いに活用することとなった。
課題となる事項	今後、遠隔地と結んで行う交流は、より計画的に行い、児童生徒が話し合ったり協力したり自主的に関わり合うような場面の設定を行い、活動計画から児童中心の活動として、ネットワークを活用することが相応しい。

学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名: 京都市立桃陽総合支援学校	
学級(学習集団)等の概要	
本時の学習集団等の特徴	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学習集団 <input checked="" type="checkbox"/> 通常とは異なる学習集団
	本時の学習集団の人数: 17名 <input checked="" type="checkbox"/> 複数学年の児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 習熟度別の学習集団を構成 <input type="checkbox"/> 小・中学校等との交流及び協働学習(次の2項の場合を除く) <input type="checkbox"/> 児童生徒の前籍校との交流及び共同学習 <input type="checkbox"/> 他の特別支援学校との交流 <input checked="" type="checkbox"/> 分校、分教室(病院内の学級を含む)等、普段は異なる場で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒と教室で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 病院内の学級の児童生徒のみで構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒のみ <input type="checkbox"/> 発達障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 知的障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 肢体不自由のある児童生徒が含まれる

学級(学習集団)等の概要	
授業日時: 平成 25年 2月 15日 5時限目	学年: 中学部 第1・2学年
教科等	<input checked="" type="checkbox"/> 各教科 (音楽) <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他 ( )
単元名	本校と分教室(府立医大)を結んで、楽しくアンサンブルをしよう。
単元・題材の目標	・それぞれの楽器の特徴を理解し、音楽表現をするための技能を身に付ける。 ・声部の重なり方の特徴を生かしてアンサンブルを工夫する。
単元全体の流れ	第1時 CDにより曲の概要をつかむ、楽譜を読み取り演奏法を知る 第2時 担当楽器の奏法等を知る、各自練習に入り表現活動をする 第3時 リズムを理解し練習する、音程やリズムに気をつけて正確に演奏する 第4時 主旋律を支える和声と同格に主張する多声的な旋律を意識して練習する 第5時 他のパートを意識して演奏する、美しい音色で演奏する技術を身に付ける 第6時 全体の流れを意識してアンサンブルする(本時6/6)
本時の目標	お互いの音を聴き合いながら合奏しよう。
本時の授業形態	本時の授業の場
<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	<input type="checkbox"/> 児童生徒が1か所に集まって実施 <input type="checkbox"/> 校内の複数の教室等(同一敷地内)をネットワークで結んで実施 <input checked="" type="checkbox"/> 本校、分校、分教室(病院内の学級を含む)等をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と病院・施設等(病院内の学級を除く)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と小・中学校、他の特別支援学校等をネットワークで結んで実施
本時の指導体制	<input type="checkbox"/> 担当教員1名のみ <input checked="" type="checkbox"/> 複数教員による指導 <input checked="" type="checkbox"/> ICT支援員によるサポート <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として学習支援) <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として介助等)



<p>く。</p> <p>⑧合奏した感想を発表する。指導者からの講評を聞く。</p> <p>一斉学習</p> <p>⑨全員で合奏をする。</p> <p>⑩挨拶をする。</p>		
<p>協働学習の実施状況</p>	<p><input type="checkbox"/> 児童生徒が教え合う場面があった      <input type="checkbox"/> 児童生徒が話し合う場面があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が協力したり助け合ったりする場面があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一人の発表を基に学級(学習集団)全体で考える場面があった</p> <p><input type="checkbox"/> 同じ問題について学級(学習集団)全体で話し合う場面があった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ネットワークを活用して遠隔地と結んで学ぶ場面があった</p>	

<p>情報通信技術の活用のねらいと効果、課題</p>	
<p>活用のねらい</p>	<p>遠隔地を結んで合奏を行うことで、離れている同年代の友人と共に学習し、同じ学校という集団への所属感を得る。</p>
<p>活用の効果</p>	<p>離れているところでも一緒に授業を受けることができたので、一体感を感じることができた。</p>
<p>課題となる事項</p>	<p>自分のパートに集中してしまい、他の音を聴く余裕がない生徒がいた。</p> <p>若干の時間差があり、合奏がずれてしまうことがあった。</p>

学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名： 京都市立桃陽総合支援学校	
学級(学習集団)等の概要	
本時の学習集団等の特徴	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学習集団 <input checked="" type="checkbox"/> 通常とは異なる学習集団
	本時の学習集団の人数： 15人  <input checked="" type="checkbox"/> 複数学年の児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 習熟度別の学習集団を構成 <input type="checkbox"/> 小・中学校等との交流及び協働学習(次の2項の場合を除く) <input type="checkbox"/> 児童生徒の前籍校との交流及び共同学習 <input type="checkbox"/> 他の特別支援学校との交流 <input type="checkbox"/> 分校、分教室(病院内の学級を含む)等、普段は異なる場で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒と教室で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 病院内の学級の児童生徒のみで構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒のみ <input checked="" type="checkbox"/> 発達障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 知的障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 肢体不自由のある児童生徒が含まれる

学級(学習集団)等の概要	
授業日時：平成25年2月15日4時限目	学年： 中学部 第1, 2学年
教科等	<input type="checkbox"/> 各教科 ( ) <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他 ( )
単元名	便利な道具を便利に使うために
単元・題材の目標	(1)携帯電話を使う際に、周りの事を考えてマナーを守るようになること。 (2)携帯電話に多くの個人情報が入っていることを理解し、その保護を意識すること。 (3)TPOに合ったコミュニケーションを選択し、選択した方法を正しく使うこと。
単元全体の流れ	(全3時間) 第1時 気持ちよい生活をおくるために、携帯電話を使う際のマナーを考える。 第2時 携帯電話の中にある個人情報を知り、個人情報の保護の仕方を考える。 第3時 TPOにあったコミュニケーションの選択をし、相手の立場になって伝える大切さを考える。
本時の目標	・メールの特性を知り、正しく伝えることの大切さを理解する。 ・コミュニケーションのそれぞれの方法のメリットデメリットを知り、正しい選択をすることができる。
本時の授業形態	本時の授業の場
<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	<input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が1か所に集まって実施 <input type="checkbox"/> 校内の複数の教室等(同一敷地内)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校、分校、分教室(病院内の学級を含む)等をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と病院・施設等(病院内の学級を除く)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と小・中学校、他の特別支援学校等をネットワークで結んで実施

本時の指導体制	<input checked="" type="checkbox"/> 担当教員1名のみ <input type="checkbox"/> 複数教員による指導 <input type="checkbox"/> ICT支援員によるサポート <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として学習支援) <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として介助等)
---------	--

本時における情報通信技術の活用	
活用した機器	IWB
活用したコンテンツ	自作コンテンツ
活用の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示や動機付け <input checked="" type="checkbox"/> まとめや振り返り <input type="checkbox"/> 児童生徒による発表や話し合い、教え合い <input checked="" type="checkbox"/> 教員による説明 <input type="checkbox"/> 観察・実験や調査の記録 <input type="checkbox"/> レポート、作品等の作成 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 直接経験の代行 <input type="checkbox"/> 意志の伝達

本時の展開		
学習の流れと児童生徒の活動	指導・支援のポイント	使用した機器・コンテンツ
<b>一斉学習</b> ①前時の振り返りをする。 ②コミュニケーションに関する寸劇を見て、コミュニケーションのポイントになる要素を確認する。	<b>【授業の展開を IWB で提示し、そのときなにをしているのかわかる状態にすることで、生徒の意識を授業に向けるよう支援する。】</b>  ・言葉の選択、ニュアンス、表情、口調、時間や場所がコミュニケーションのポイントになることに気付かせる。	IWB(指導者)
<b>協働学習→一斉学習</b> ③3つのコミュニケーションの方法について、それぞれのメリット、デメリットを考え、発表する。 ○お互いの顔を見て伝える。 ○電話で伝える。 ○メールで伝える。	<b>【メリット、デメリットのスライドを提示しておき、その後の活動中も常に確認できるようにしておく。】</b>  ・「メールのやりとりで大げんかした相手に謝りたいが、今は会えない。でも直接会って謝らなければ。」という状況でどのように連絡するかを考える。	IWB(指導者)

<p><b>個別学習→協働学習</b> <b>→一斉学習</b></p> <p>④大事な要件を直接伝えられない状況のときに、どのような方法を選択して連絡するかを考える。</p> <p><b>一斉学習</b></p> <p>⑤3つのコミュニケーションの方法の違いと、どのようなことに気をつけて方法を選択すればよいかを確認する。</p> <p>個別学習</p> <p>⑥本時の振り返りをワークシートに記入する。</p>	<p>・重要なことを話すときは直接会って話すことが大切であるが、状況によって最適な方法を選択することを確認する。</p>	<p>IWB(指導者)</p>
<p>協働学習の実施状況</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が教え合う場面があった    <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が話し合う場面があった</p> <p><input type="checkbox"/> 児童生徒が協力したり助け合ったりする場面があった</p> <p><input type="checkbox"/> 一人の発表を基に学級(学習集団)全体で考える場面があった</p> <p><input type="checkbox"/> 同じ問題について学級(学習集団)全体で話し合う場面があった</p> <p><input type="checkbox"/> ネットワークを活用して遠隔地と結んで学ぶ場面があった</p>	

<p>情報通信技術の活用のねらいと効果、課題</p>	
<p>活用のねらい</p>	<p>・話し合い活動において、課題の共有をする。</p> <p>・病院との関係で遅れて登校する生徒に、今なにをしているか展開を提示する。</p>
<p>活用の効果</p>	<p>・話し合い活動で課題の共有ができ、スムーズに進んだ。</p>
<p>課題となる事項</p>	<p>・パワーポイントにおいて、表示する文字のサイズや配置など、わかりやすさをより追求したい。</p> <p>・話し合い活動を活発にする工夫を考えたい。</p>



学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名: 京都市立桃陽総合支援学校	
学級(学習集団)等の概要	
本時の学習集団等の特徴	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学習集団 <input checked="" type="checkbox"/> 通常とは異なる学習集団
	本時の学習集団の人数: 1名 <input type="checkbox"/> 複数学年の児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 習熟度別の学習集団を構成 <input type="checkbox"/> 小・中学校等との交流及び協働学習(次の2項の場合を除く) <input type="checkbox"/> 児童生徒の前籍校との交流及び共同学習 <input type="checkbox"/> 他の特別支援学校との交流 <input type="checkbox"/> 分校、分教室(病院内の学級を含む)等、普段は異なる場で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒と教室で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 病院内の学級の児童生徒のみで構成 <input checked="" type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒のみ <input type="checkbox"/> 発達障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 知的障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 肢体不自由のある児童生徒が含まれる

学級(学習集団)等の概要	
授業日時: 平成 25年 2月 6日 2・3時限目	学年: 中学部 第1学年
教科等	<input checked="" type="checkbox"/> 各教科 (社会) <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他 ( )
単元名	3章2節 ヨーロッパ州
単元・題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ州の国々や自然、文化と歩み、農業と工業についての基礎的な事項を理解する。</li> <li>・EUのしくみと加盟国の人々の生活、課題について追及する。</li> </ul>
単元全体の流れ	(全て本時) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの自然</li> <li>・ヨーロッパの文化と歩み</li> <li>・ヨーロッパの産業</li> <li>・国境を自由にこえられる暮らし①②</li> </ul>
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ州についての基礎的な事項を理解する。</li> <li>・EUについて理解を深める。</li> </ul>
本時の授業形態	本時の授業の場
<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 協働学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	<input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が1か所に集まって実施 <input type="checkbox"/> 校内の複数の教室等(同一敷地内)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校、分校、分教室(病院内の学級を含む)等をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と病院・施設等(病院内の学級を除く)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と小・中学校、他の特別支援学校等をネットワークで結んで実施
本時の指導体制	<input checked="" type="checkbox"/> 担当教員1名のみ <input type="checkbox"/> 複数教員による指導 <input type="checkbox"/> ICT支援員によるサポート

	<input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として学習支援) <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として介助等)
--	---

本時における情報通信技術の活用	
活用した機器	スレート型パソコン
活用したコンテンツ	自作コンテンツ フォトギャラリー パワーポイント
活用の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示や動機付け <input type="checkbox"/> 児童生徒による発表や話し合い、教え合い <input type="checkbox"/> 観察・実験や調査の記録 <input type="checkbox"/> レポート、作品等の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 直接経験の代行 <input type="checkbox"/> 意志の伝達 <input type="checkbox"/> まとめや振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 教員による説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着

本時の展開		
学習の流れと児童生徒の活動	指導・支援のポイント	使用した機器・コンテンツ
<p>ヨーロッパ州の自然</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図をみて、代表的な山脈や川などの場所と名前をマーカーでチェックする。</li> <li>・指導者が見せる山脈や川の画像を見ながら指差し確認をする。</li> </ul> <p>ヨーロッパの文化と歩み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や画像を見ながら、指導者の説明を聞き、プリントに穴埋めする。</li> </ul> <p>ヨーロッパの産業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの食文化クイズをする。</li> </ul> <p>食べ物や料理の画像</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な角度からとった画像を集めておく。</li> <li>・画像を見せながら、名前の由来や歴史など説明を加える。</li> <li>・ヨーロッパの地形や気候の特徴について説明する。</li> <li>・教科書や画像からヨーロッパの文化の特徴や歩みを考えさせる。</li> <li>・その国の代表的な料理の画像を何枚か集め、クイズがだせるようにまとめておく。</li> <li>・指導者が全て説明するのではなく、生徒が考えたり、答えを見つける機会をつくる。</li> </ul>	<p>スレート型パソコン (指導者)</p> <p>スレート型パソコン (指導者)</p> <p>スレート型パソコン (指導者)</p>

<p>をみて、どこの国ものか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の説明を聞きながらプリントに穴埋めしたり、教科書にチェックをいれる。</li> <li>・教科書の資料やグラフをみて、ヨーロッパの産業の特徴をつかむ。</li> </ul> <p>国境を自由にこえられるくらし①②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EUについて動画を見ながらメモをとる。</li> <li>・メモを見ながらプリントの穴埋めをしたり、指導者の説明を聞く。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のおさらいプリントをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メモ用紙を用意する。</li> <li>・音量調節をする。</li> <li>・EUについての補足プリントを用意し、さらに理解を深められるようにしておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スレート型パソコン (指導者)</li> </ul>
<p>協働学習の実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒が教え合う場面があった</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒が話し合う場面があった</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒が協力したり助け合ったりする場面があった</li> <li><input type="checkbox"/> 一人の発表を基に学級(学習集団)全体で考える場面があった</li> <li><input type="checkbox"/> 同じ問題について学級(学習集団)全体で話し合う場面があった</li> <li><input type="checkbox"/> ネットワークを活用して遠隔地と結んで学ぶ場面があった</li> </ul>	

<p>情報通信技術の活用のねらいと効果、課題</p>	
<p>活用のねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や画像などたくさんの資料を提示しながら授業を進める。</li> <li>・実際の画像をみせることで、ヨーロッパをより身近に感じさせたり、理解を深める。</li> <li>・動画をみてメモをとることで、聞く力や要点をつかむ力を伸ばす。</li> </ul>
<p>活用の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や地図帳以外の、迫力ある写真や画像をみることができるので、興味や関心をより刺激することができた。</li> <li>・学習にちなんだクイズを出すなど、楽しく学べる機会ができた。</li> <li>・指導者の話を聞くだけでなく、動画を見ながらメモをとるなど、病室でできる学習方法に幅をもたすことができた。</li> </ul>
<p>課題となる事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校から病院への交通手段の如何によっては持ち運びできる機器が限られる。</li> <li>・病室ではネット環境が整っていないので、事前にパソコンに動画をとりこまなければならないので、見ることのできる動画や画像が限られる。</li> </ul>

学びのイノベーション事業 授業実践報告

学校名： 京都市立桃陽総合支援学校	
学級(学習集団)等の概要	
本時の学習集団等の特徴	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学習集団 <input checked="" type="checkbox"/> 通常とは異なる学習集団
	本時の学習集団の人数：6人 <input type="checkbox"/> 複数学年の児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 習熟度別の学習集団を構成 <input type="checkbox"/> 小・中学校等との交流及び協働学習(次の2項の場合を除く) <input type="checkbox"/> 児童生徒の前籍校との交流及び共同学習 <input type="checkbox"/> 他の特別支援学校との交流 <input checked="" type="checkbox"/> 分校、分教室(病院内の学級を含む)等、普段は異なる場で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒と教室で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 病院内の学級の児童生徒のみで構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒のみ <input checked="" type="checkbox"/> 発達障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 知的障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 肢体不自由のある児童生徒が含まれる

学級(学習集団)等の概要	
授業日時：平成24年2月15日3時限目	学年： 中学部 第1学年
教科等	<input checked="" type="checkbox"/> 各教科 ( ) <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他 ( )
単元名	植物のつくりと働き
単元・題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレパラートをつくり、リモート顕微鏡(顕微鏡)の操作できる。</li> <li>・気孔の表裏の数の違いを、気孔の働きや葉のつき方と関連つけて考える。</li> <li>・協力して実験を行う。</li> </ul>
単元全体の流れ	第1時 簡易スンプ法、気孔のプレパラートをつくり、その方法を習得し、裏に気孔の多い植物の気孔の数を数えることで気孔が植物の裏に多いことを確認する。 第2時 前回とは葉の様子異なる植物の気孔についてその表裏の数を予想し、グループで討議をする。その後、実際に観察して求める。
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ会議システムを使って、グループ討議ができる。</li> <li>・葉のつき方と気孔の数についての関連性を見出すことができる。</li> <li>・協力して実験を行う。</li> </ul>
本時の授業形態	本時の授業の場
<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	<input type="checkbox"/> 児童生徒が1か所に集まって実施 <input type="checkbox"/> 校内の複数の教室等(同一敷地内)をネットワークで結んで実施 <input checked="" type="checkbox"/> 本校、分校、分教室(病院内の学級を含む)等をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と病院・施設等(病院内の学級を除く)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と小・中学校、他の特別支援学校等をネットワークで結んで実施
本時の指導体制	<input type="checkbox"/> 担当教員1名のみ <input checked="" type="checkbox"/> 複数教員による指導 <input checked="" type="checkbox"/> ICT支援員によるサポート

	<input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として学習支援) <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として介助等)
--	---

本時における情報通信技術の活用	
活用した機器	TPC、電子黒板、ウェブカメラ、リモート顕微鏡
活用したコンテンツ	
活用の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示や動機付け <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒による発表や話し合い、教え合い <input checked="" type="checkbox"/> 観察・実験や調査の記録 <input checked="" type="checkbox"/> レポート、作品等の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 直接経験の代行 <input type="checkbox"/> 意志の伝達
	<input type="checkbox"/> まとめや振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 教員による説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着

本時の展開		
学習の流れと児童生徒の活動	指導・支援のポイント	使用した機器・コンテンツ
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">一斉学習</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の授業を振り返る。</li> <li>・本時の授業の流れを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">協働学習→一斉学習</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに2種類の植物について、葉の表と裏の気孔の数を予想し、理由も考えグループごとに発表する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">個別学習→協働学習</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に気孔の数を数え、グループごとに結果をまとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">一斉学習</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気孔の数を発表し合う。</li> <li>・まとめの話を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい文字を使う。</li> <li>・答えられそうな発問を用意する。</li> <li>・前回との植物との違いがわかるような模型を準備する。</li> <li>・予想には選択肢を用意する。</li> <li>・予想しやすいようなヒントを準備する。</li> <li>・発表は紙に書いてするようにする。</li> <li>・気孔と紛らわしいものを除外するように指示する。</li> <li>・気孔の多いところを数えるようにする。</li> <li>・結果を書く用紙を用意する。</li> </ul>	<p>テレビ会議システム・ウェブカメラ(この2つは1時間を通して)</p> <p>リモート顕微鏡</p>
協働学習の	<input type="checkbox"/> 児童生徒が教え合う場面があった	<input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が話し合う場面があった

実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が協力したり助け合ったりする場面があった <input type="checkbox"/> 一人の発表を基に学級(学習集団)全体で考える場面があった <input type="checkbox"/> 同じ問題について学級(学習集団)全体で話し合う場面があった <input type="checkbox"/> ネットワークを活用して遠隔地と結んで学ぶ場面があった
------	--

情報通信技術の活用のねらいと効果、課題	
活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院では使うことのできない生物教材を観察する。</li> <li>・普段話合う機会を持たない分教室生徒が、本校の生徒と意見交換をしながら課題を解決する。</li> </ul>
活用の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物教材を自分で操作し、観察することができた。</li> <li>・同じ学年の生徒の意見を聞いたりすることで、協働学習をすることができた。</li> </ul>
課題となる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラの位置とディスプレイの位置がずれていることで視線の持って行き方に困りました。</li> <li>・声がどの程度で伝わっているのかわからなく、大きい声を出してしまった。</li> <li>・指示を出すときには全体を見ないとにくいし、また、生徒の細かい様子を見る時は拡大が必要であったりして、どこを映すかということを綿密に決めておく必要を感じました。</li> </ul>

学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名: 京都市立桃陽総合支援学校	
学級(学習集団)等の概要	
本時の学習集団等の特徴	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学習集団 <input type="checkbox"/> 通常とは異なる学習集団
	本時の学習集団の人数: 8名 <input type="checkbox"/> 複数学年の児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 習熟度別の学習集団を構成 <input type="checkbox"/> 小・中学校等との交流及び協働学習(次の2項の場合を除く) <input type="checkbox"/> 児童生徒の前籍校との交流及び共同学習 <input type="checkbox"/> 他の特別支援学校との交流 <input type="checkbox"/> 分校、分教室(病院内の学級を含む)等、普段は異なる場で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒と教室で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 病院内の学級の児童生徒のみで構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒のみ <input checked="" type="checkbox"/> 発達障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 知的障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 肢体不自由のある児童生徒が含まれる

学級(学習集団)等の概要	
授業日時: 平成25年2月15日3時限目	学年: 中学部 第2学年
教科等	<input checked="" type="checkbox"/> 各教科 (国語) <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他 ( )
単元名	走れメロス
単元・題材の目標	文学的な文章の流れをとらえ、読み味わい、自分の考えをまとめる。
単元全体の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の通読。</li> <li>・メロスの心情曲線を書く。</li> <li>・「謎」について考え、報告する。</li> <li>・「そうだったのか 走れメロス」で、感動文を書く。</li> <li>・感想交流会を行う。</li> </ul>
本時の目標	(1)話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意して、わかりやすい発表を行うこと。 (2)自分の伝えたい事柄を明確にして、文章を書くこと。
本時の授業形態	本時の授業の場
<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	<input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が1か所に集まって実施 <input type="checkbox"/> 校内の複数の教室等(同一敷地内)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校、分校、分教室(病院内の学級を含む)等をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と病院・施設等(病院内の学級を除く)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と小・中学校、他の特別支援学校等をネットワークで結んで実施
本時の指導体制	<input checked="" type="checkbox"/> 担当教員1名のみ <input type="checkbox"/> 複数教員による指導 <input type="checkbox"/> ICT支援員によるサポート <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として学習支援) <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として介助等)





情報通信技術の活用のねらいと効果、課題	
活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働学習システムを活用することで情報の共有ができる。</li> <li>・他の生徒の書き方を見ることができる。</li> </ul>
活用の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の意見をみることができ、次の課題に取り組むときに活用できた。</li> <li>・感想文の書き方がわからない、見せてと言えない生徒が、他の生徒の書き方を見て、参考にして書くことができた。</li> </ul>
課題となる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題が早く終わった生徒が、インターネットを使い検索することがある。</li> </ul>

学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名: 京都市立桃陽総合支援学校	
学級(学習集団)等の概要	
本時の学習集団等の特徴	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学習集団 <input checked="" type="checkbox"/> 通常とは異なる学習集団
	本時の学習集団の人数: 29 <input checked="" type="checkbox"/> 複数学年の児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 習熟度別の学習集団を構成 <input type="checkbox"/> 小・中学校等との交流及び協働学習(次の2項の場合を除く) <input type="checkbox"/> 児童生徒の前籍校との交流及び共同学習 <input type="checkbox"/> 他の特別支援学校との交流 <input checked="" type="checkbox"/> 分校、分教室(病院内の学級を含む)等、普段は異なる場で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒と教室で学習する児童生徒で構成 <input type="checkbox"/> 病院内の学級の児童生徒のみで構成 <input type="checkbox"/> ベッドサイドで学習する児童生徒のみ <input checked="" type="checkbox"/> 発達障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 知的障害のある児童生徒が含まれる <input type="checkbox"/> 肢体不自由のある児童生徒が含まれる

学級(学習集団)等の概要	
授業日時: 平成 24年11月 6日 5・6時限目	学年: 中学部 第1・2・3 学年
教科等	<input type="checkbox"/> 各教科 ( ) <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他 ( )
単元名	NEW文房具を考えよう
単元・題材の目標	文房具の調査と分析を行い、グループでアイデアを出しながら役立つ「NEW文房具」を企画する。グループの提案をプレゼン・ポスターセッションなどで交流し合い、最終的にまとめた企画を聞く人にうまく伝える。
単元全体の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師から文具についての講義を受ける。</li> <li>・グループ毎に「NEW文房具」を考える。</li> <li>・グループ毎に考えた「NEW文房具」について発表する。</li> </ul>
本時の目標	(1) 他グループの提案に対し、アドバイスをTPCで書き込む。 (2) グループで協力し、作業を進める。 (3) 担当している作業を、責任を持って進める。
本時の授業形態	本時の授業の場
<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	<input type="checkbox"/> 児童生徒が1か所に集まって実施 <input type="checkbox"/> 校内の複数の教室等(同一敷地内)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校、分校、分教室(病院内の学級を含む)等をネットワークで結んで実施 <input checked="" type="checkbox"/> 本校等の教室と病院・施設等(病院内の学級を除く)をネットワークで結んで実施 <input type="checkbox"/> 本校等の教室と小・中学校、他の特別支援学校等をネットワークで結んで実施
本時の指導体制	<input type="checkbox"/> 担当教員1名のみ <input checked="" type="checkbox"/> 複数教員による指導 <input checked="" type="checkbox"/> ICT支援員によるサポート <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として学習支援) <input type="checkbox"/> 特別支援教育支援員等によるサポート(主として介助等)

本時における情報通信技術の活用	
活用した機器	・IWB ・TPC ・リモートカメラ ・TV会議システム
活用したコンテンツ	自作コンテンツ 生徒活用コンテンツ (コラボノート)
活用の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示や動機付け <input type="checkbox"/> まとめや振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒による発表や話し合い、教え合い <input type="checkbox"/> 教員による説明 <input type="checkbox"/> 観察・実験や調査の記録 <input type="checkbox"/> レポート、作品等の作成 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 直接経験の代行 <input type="checkbox"/> 意志の伝達

本時の展開		
学習の流れと児童生徒の活動	指導・支援のポイント	使用した機器・コンテンツ
<p><b>一斉学習</b> 本時の活動内容の確認</p> <p><b>個別学習</b> 他グループの提案についてアドバイスを書き込む。</p> <p><b>一斉学習</b> VTRを視聴し、開発の参考にする。</p> <p><b>協働学習・個別学習</b> ・アドバイスを参考に開発商品の見直しをはかる。 ・今後の作業内容を確認し、役割分担を行う。 ・発表時の役割分担を行う。 ・分教室とTV会議で結び、意見交換を行う。</p> <p><b>一斉学習</b> 次回の活動について</p>	<p>本時の説明 集中して聞くように促す。</p> <p>協働学習システムを活用し、アドバイスを書き込む。</p> <p>TV会議システムで本校と分教室をつなぐ。</p> <p>協働学習システムの書き込みを見ながら話し合いを進める。 分教室の生徒と意見交換を行うグループに対し、マイクなどを準備する。 TV会議システムの音声聞き取りにくい時は、ゆっくり話すように促す。</p>	<p>IWB (指導者)</p> <p>IWB (指導者) TPC (生徒) IWB (生徒) P C</p> <p>IWB (指導者)</p> <p>TPC (生徒)</p>

協働学習の実施状況	<input type="checkbox"/> 児童生徒が教え合う場面があった <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が話し合う場面があった <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒が協力したり助け合ったりする場面があった <input type="checkbox"/> 一人の発表を基に学級(学習集団)全体で考える場面があった <input type="checkbox"/> 同じ問題について学級(学習集団)全体で話し合う場面があった <input checked="" type="checkbox"/> ネットワークを活用して遠隔地と結んで学ぶ場面があった
-----------	---

情報通信技術の活用のねらいと効果、課題	
活用のねらい	TV会議システム・協働学習システムを活用することにより、本校の生徒と府立医大分教室の生徒が協働的に学習できる環境を提供する。
活用の効果	TV会議システム・協働学習システムを活用することにより、本校と遠隔地である府立医大分教室の生徒が「NEW文房具」を開発する学習活動を協働的にすることができた。
課題となる事項	病室から授業に参加する場合、通信状態が悪くなると音声などが聞き取りにくくなる。グループ活動では資料(コラボノートで共有)を見ながらTV会議で意見交換するので、一人がTPCを2台使用することになる。